

目 次

巻 頭 言

第1章 令和2年度スーパーサイエンスハイスクール研究開発実施報告（要約）	1
第2章 令和2年度スーパーサイエンスハイスクール研究開発の成果と課題	7
第3章 研究開発実施報告書	

I 中高一貫教育校として、理数教育に関する教育課程の開発及び教科の枠を越え、探究の「問い」を創る授業の実践

1 研究開発の課題	10
2 研究開発の経緯	11
3 研究開発の内容	12
探究の「問い」を創る授業・教科の枠を越える授業・学校設定科目「未来科学A」「未来科学B」「探究数学Ⅰ」・「探究数学Ⅱ」・「探究数学Ⅲ」・「SS探究物理」・「SS探究化学」・「SS探究生物」	
4 実施の効果とその評価	17
5 校内におけるSSHの組織的推進体制	18
6 成果の発信・普及	
7 研究開発実施上の課題及び今後の研究開発の方向性	

II 中高一貫教育校として、教科との関わりを重視した探究活動プログラムの実践

1 研究開発の課題	19
2 研究開発の経緯	20
3 研究開発の内容	
(1) 宇土未来探究講座Ⅰ～Ⅲ	【中学1年・2年・3年】 21
(2) ロジックプログラム	【学校設定科目・高校1年】 22
(3) SS(スーパー・サイエンス)課題研究	【学校設定科目・高校2年SSH主対象】 27
(4) GS(グローバル・サイエンス)課題研究	【学校設定科目・高校2年SSH主対象外】 30
(5) ロジック探究基礎・ロジックガイドブック	【学校設定科目・高校2年SSH主対象外】 31
(6) SS(スーパー・サイエンス)課題研究	【学校設定科目・高校3年SSH主対象】 32
(7) ロジックスーパープレゼンテーション	【全学年】 33
(8) 高大連携・高大接続	【SSH主対象生徒】 34
(9) ロジックアセスメント	【SSH主対象生徒】 35
(10) 科学部活動の活性化	【全学年希望者】 36
4 実施の効果とその評価	37
5 校内におけるSSHの組織的推進体制	38
6 成果の発信・普及	
7 研究開発実施上の課題及び今後の研究開発の方向性	

III 中高一貫教育校として、社会と共創する探究を進め、地域からグローバルに展開するプログラムの実践

1 研究開発の課題	39
2 研究開発の経緯	
3 研究開発の内容	
(1) U-CUBE(英語で科学・グローバル講座・同時通訳講座)	【全学年希望者】 40
(2) 海外研修(代替：オンライン国際研究発表)	【高校選抜者】 41
(3) 社会との共創プログラム	43
4 実施の効果とその評価	45
5 校内におけるSSHの組織的推進体制	46
6 成果の発信・普及	
7 研究開発実施上の課題及び今後の研究開発の方向性	

第4章 関係資料

1 教育課程表	47
2 運営指導委員会の記録	48
3 教育課程上に位置付けた課題研究における生徒が取り組んだ研究テーマ一覧	51
4 研究開発実施報告書における用語集	55
5 開発独自教材一覧、研究開発の分析の基礎資料となったデータ	56